

# SEF News Letter

## 2025 | vol.93 | 2025.1



## 新年のご挨拶



公益財団法人  
Save Earth Foundation  
代表理事 渡邊 美樹

旧年中は皆様からの温かいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

気候変動が世界に及ぼす脅威は留まることがなく、資源循環事業と森林再生事業に取り組む公益財団法人として、引き続き、循環型社会、脱炭素社会ならびに生物多様性に貢献していく必要があると考えています。

資源循環事業では、「食品リサイクルループの構築と拡大」を最重要課題に据えて取り組んでいます。2024年度は福岡市、山口市・宇部市で会員企業の株式会社資さんを中心とした新規食品リサイクルループを構築し、再生利用事業計画の申請をしました。認定取得後、より多くの会員企業の皆様とともに食品リサイクルループの輪を拡大していけるよう進めていきます。これは多様な食品関連事業者が共同で食品リサイクルループに取り組み、外食業だけでなく、小売業や宿泊業など業種の垣根を越えた取り組みとなります。また、廃棄物管理システム「SEF-Net」を125社3667拠点で導入し、廃棄物の法令順守と適正管理の仕組みを提供しています。これからも自治体、食品関連事業者、再生利用事業者(リサイクラー)、生産者、そして消費者との協働でサーキュラーエコノミーの実現に取り組んで参ります。

森林再生事業では、現在6地域646haで森林保全協定を結んでおり、各地域の状況やそれぞれの森林の状態に合わせた活動を継続して参りました。

2024年度から「森林アカデミー」を新規開講し、企業がなぜ森林活動に取り組むのかを体系的に学ぶ機会を提供しました。これは、「企業の森」活動と「森林クレジット」を通して、森林再生及び生物多様性の保全を行い、自然共生サイトへの登録やTNFD開示につなげて自然共生社会へ貢献するほか、森林クレジットの取り組みで脱炭素社会への貢献をし、企業の価値向上につなげる取り組みです。

本年2月いよいよ「企業の森」の第1回協定締結式、森林クレジットの販売開始をもって、会員企業の皆様との生物多様性の保全に貢献する森林再生活動を推し進めて参ります。

SDGsの目標年度まで、あと5年となりました。美しい地球を未来の子どもたちに残していくためには、一人一人が地球環境の大切さに気づき、意識を変えていかななくてはなりません。事業を通して社会に影響を及ぼす存在になれるよう、SEFは、資源循環事業では食品リサイクルループの構築と拡大、森林再生事業では森林アカデミーを通じた森林再生保全を今年も精一杯取り組む所存です。

輝かしき新春を迎え、皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに、一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

2025年 元旦

headline

事業活動報告  
 ゼロエミッション研究会

事業活動報告  
 2024年度森林アカデミー

## ゼロエミッション研究会とは

当財団では、ゼロエミッションの実現に向けて、2017年より食品小売業・外食産業の店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正管理の手法を学ぶ場として、「ゼロエミッション研究会」を開催しています。

## 第3回ゼロエミッション研究会

9月19日(木)に今年度3回目となるゼロエミッション研究会を開催しました。43社78名の方にZOOMとのハイブリット勉強会にご参加頂きました。食品ロスの削減の進捗として、ワタミ株式会社の柳原拓海氏に、新型計量器のデモンストレーションを寺岡精工株式会社の大藤政雄氏・間所光義氏に、国産飼料の自給率に貢献するエコフィードとして、中部有機リサイクル株式会社の前川覚氏にご講演いただきました。

## 第4回ゼロエミッション研究会

11月21日(木)に今年度4回目となるゼロエミッション研究会を開催しました。40社65名の方にZOOMとのハイブリット勉強会にご参加頂きました。バイオマスリサイクルマネジメントについて株式会社ディー・アイ・ディー澤田氏にご講演頂き、愛知コーヒー粕リサイクルプロジェクトの進捗報告を株式会社小椋屋 鈴木氏と市場氏にご講演頂き、熱海市伊豆山課題と対策についてSEF 志岐理事からご講演いただきました。

## 2024年度ゼロエミッション研究会 概要

## 【日程】全6回

- 第1回 5月23日(木)
- 第2回 7月18日(木)
- 第3回 9月19日(木)
- 第4回 11月21日(木)
- 第5回 1月30日(水)
- 第6回 3月27日(木)

日程変更

【勉強会 会場】ワタミ株式会社 東京(大鳥居)本社

【参加費】70,000円

※賛助会員(民間団体)は無料※別途：見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

- 【講師】
- 百瀬 則子氏 (SEF 業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長)
  - 志岐 秀明氏 (SEF 理事、株式会社アーベンベジ代表取締役)
  - 牛久保 明邦氏 (SEF 顧問、東京農業大学名誉教授)
- ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

★概要をご確認のうえ、SEF ホームページからお申込みください。  
<https://save-earth.or.jp/archives/8599>

## 森林アカデミーとは

当財団では、「なぜ今、企業に森が関わるのか」をテーマに森林再生活動の具体例や生物多様性への取り組み、森林クレジットによる脱炭素社会への貢献を学ぶ機会を提供し、参加企業が自社で「企業の森」活動を通して、森林再生保全・生物多様性保全を実践することを目的に2024年度新たに森林アカデミーを開催しました。

## 第4回森林アカデミー

10月16日(水)～17日(木)に今年度4回目となる森林アカデミーを開催いたしました。第4回は陸前高田の森に実地研修として6社9名の方に勉強会にご参加頂きました。企業の森で実際に作業する森の見学や作業体験、Jクレジットを創出する森の見学など1泊2日で研修をおこないました。



## 2024年度森林アカデミー 概要

## 【日程】全6回

- 第1回 4月25日(木)
- 第2回 6月27日(木)
- 第3回 8月28日(水)
- 第4回 10月16日(水)・17日(木)
- 第5回 12月19日(木)
- 第6回 2月21日(金)

【勉強会 会場】ワタミ株式会社 東京(大鳥居)本社

【参加費】70,000円

※賛助会員(民間団体)は無料※別途：見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

## 【講師】

- 大場龍夫氏 (SEF 理事、株式会社森のエネルギー研究所代表取締役)
- 鈴木修一郎氏 (SEF 理事、株式会社ウェストボックス代表取締役)
- 長野麻子氏 (SEF 顧問、株式会社モリアゲ代表取締役)

2024年4月から8月の森林保全活動 2024年7月31日現在

活動日	場所	イベント	参加人数
9月	14日	日向の森	定例保全活動 13名
	21日	日向の森	定例保全活動 10名
11月	9日	日向の森	定例保全活動 12名
	23日	日向の森	定例保全活動 20名
	30日	海上の森	定例保全活動 33名

2024年4月～2024年11月末までの累計

日向の森 **349名** あいち海上の森 **79名** 丹波の森 **5名**

◎海上の森(愛知県瀬戸市)活動報告



11月18日(土)の活動では、株式会社小柵屋様、株式会社ウェストボックス様、ワタミ株式会社の皆様、豊田鉄工株式会社様、三重県森林インストラク

ター会様2名、一般の方4名、小学生4名、スタッフを含め合計33名に参加していただきました。

森のツル切り作業班と、森の見学&除伐班に分かれ活動しました。

藤ヅルは他の木にまきついて成長し、成長しすぎると他の木を締め付けて成長を止めてしまったり、放置しておくとも木が倒れてしまう事もあるということを知り、藤ヅルにロープをかけ、綱引きの要領で全員の力を合わせ引っ張り撤去しました。

森の見学&除伐班は今まで作った広場や看板、ベンチなどを見学し、実際に除伐を行いました。

◎ウッディミナミの森(兵庫県丹波市)活動報告

ウッディミナミの森は、2024年4月に会員企業の石光商事株式会社、市島南自治会、SEFの3者で協定を締結し、2024年度から石光商事株式会社様の「企業の森」としての活動を開始しました。

12月15日(日)の活動では、石光商事株式会社様、株式会社カミチク様、有限会社ウッズ様、市島南自治会長の計8名が参加し、午前中は広場整備のための草刈りを行いました。広場を整備することにより、今後間伐を実施した際の木材置き場として活用したり、森林活動時の休憩場所として準備していきます。

午後は自治会館のスペースをお借りし、来年度の活動方針や計画について話し合いました。自治会に意向も確認しつつどのような森にしたいのかを専門家の助言をいただきながら意見を出し合い、わくわくする森づくりへの一歩を進む取り組みとなりました。



今日のSDGs

15



SDGs15：ツルを切って木を助けた。ツルも生きなくてはならないし、木も生きなくてはならない。ツルを切るということはツルの命をいただいたという事。森を守るために、もっと良くしようと思い木を切ったが、木の命をいただいた。

2



SDGs2：食べ物もすべて命。またSDGs2は持続可能な農業の推進もある。ワタミは持続可能な農業を推進している。私たちは命をいただいて生きている。今回は命を持って帰る。今日作ったリースを持ち帰るということは、森を持ち帰るという事。生き物を大切にしてください。





## SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたり感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

### <2025年1月～3月の活動予定>

#### ●千葉県山武市(日向の森)

※引き続き、2018年の台風15・19号による被害を受けた人工林の復旧作業を中心とした活動を予定しています。

1月13日(土)、1月25日(土)

2月8日(土)

3月8日(土)、3月22日(土)

#### ●愛知県瀬戸市

(あいち海上の森)

1月18日(土)

2月22日(土)

※その他地域での活動予定については、SEF ホームページをご覧ください。

活動の詳細、お申込みはコチラ ▶▶ <https://save-earth.or.jp/event>

## 賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。

「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・団体	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品リサイクルループ構築支援</li> <li>・「企業の森づくり活動」支援</li> <li>・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導</li> <li>・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待</li> </ul>		
	会員区分 年会費	特別賛助会員	1□	500,000円
個人	会員区分 年会費	賛助会員	1□	50,000円
		資源循環サポーター	1□	50,000円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1□	50,000円(森林再生事業に用途を限定)
	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待</li> <li>・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行</li> </ul>		
		賛助会員	1□	10,000円
		資源循環サポーター	1□	1,200円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1□	1,200円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>

